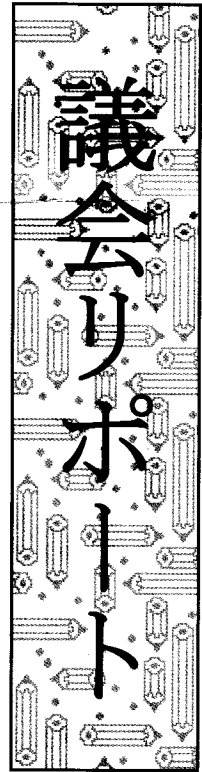




深山たかし

発行元：深山たかし後援会
上尾市大字上1774-7
048 (776) 0575
ホームページ

fukayama.net
”深山たかし”でも閲覧できます。



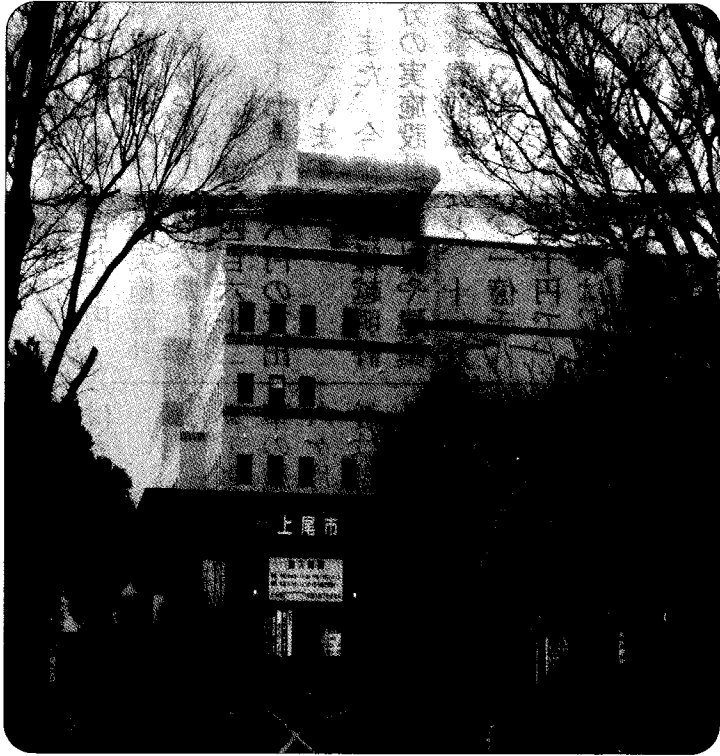
環境センターの事故について

昨年末、市民の皆様にご不便をお掛けしました西貝塚環境センターの事故について報告がありました。

老朽化が進んでいます。

西貝塚環境センターでは、毎年十一月に三基ある焼却炉を全炉停止しまして、施設の定期点検を行います。

今回の事故は、定期点



検を終了し、二号炉を立ち上げましたところ、ボイラー廻りの水を循環する配管が破損し、緊急停止しました。

原因としましては、経年劣化していることやボイラー内を流れる排ガスによって、耐火物の摩耗や配管の摩耗、腐食したことが考えられます。

炉の耐用年数

炉の耐用年数は、一般的には二十年から二十五年と言われています。

これまでのメンテナンスは、管が直接高温の排ガスにさらされている箇所について、定期的に管の厚さを測り、その状態を確認していましたが、今回破損した箇所は、管が直接高温の排ガスにさらされないよう耐火物で覆われていました。このような耐火物の摩耗が進んでいる箇所は、耐火物の補修を行っていますが、年々その範囲が広がって

ているのが現状です。今年度のスケジュールでは、今回破損した二号炉について、大規模な耐火物補修工事を平成二十九年八月中旬から九月中旬にかけて、局部補修を行いました。今回破損した箇所はその補修範囲に入っていませんでした。

西貝塚環境センター概要

所在地：埼玉県上尾市西貝塚35-1
敷地面積：約3万8,000平方メートル
総事業費：約177億円
工期：着工：平成6年9月、竣工：平成10年3月

<主要設備>

- ごみ焼却処理施設
 - ア. 設備形式 全連続燃焼式ごみ焼却炉
 - イ. 焼却能力 300トン/日(100トン/24時間×3炉)
 - ウ. 焼却対象ごみ 可燃ごみ、プラスチックごみ、粗大ごみ破碎後の可燃ごみ
 - エ. 発電 蒸気タービン発電機 発電量2,080キロワット

図書館建設について

図書館の工事が中断している状況に、上平地区にお住まいの方々より問い合わせが多数来ております。

昨年末、畠山稔氏が市長に就任されて、見解を述べられておりますので、ご報告いたします。

新図書館複合施設計画の今後の方向性について

【畠山市長答弁】

これまでの議会の経緯や市民の意見などを検証し、私なりに検討してなるべく早い段階で結論を出してまいります。

【執行部答弁】経費関係

図書館建設事業について現在まで負担された土地買収費を含めた費用の内訳

平成二十六年度は、測量委託料などの合計で、三百九十万二千九百五十円、

平成二十七年年度は基本設計委託料などで、合計三千三百七十七万八千九百九十円、平成二十八年度は実施設計委託料や、用地購入費などで、合計三億千四百六十二万七千七百九十六円の支出をしています。

また、今年度は繰越明許分の実施設設計委託料や建築工事費前払金など、十一月末までの合計は、一億千八百七十九万五千二百円、これまでの合計金額は、四億七千五百万四千七百五十六円となっています。

九月議会で議決し、契約を締結した工事の合計金額は二十三億六千二百二十六万七千八百円です。

また、工事の施工管理業務として四千二百二十万円で契約を締結したので、工事と業務委託の契約金額の合計は、二十四億四百三十八万七千八百円となります。

●受注者から契約の解除ができる期限はあるのか。契約

解除した場合、市が受注者に支払う損害賠償等の額はどのようになるか。

★工事の契約約款では、工事の施工の中止期間が、六ヶ月を超えたとき、受注者は当該契約を解除することができ、損害があるときは、その損害の賠償を市に請求できる規定になっています。

契約解除した場合、仮設工事費などこれまでに要した経費のほかに、受注者との協議によりますが、損害賠償などを請求される場合があります。

●仮に建設工事が中止となった場合（起債関係）

★本事業に係る公共施設等適正管理推進事業債については、埼玉県知事と協議を行い、同意を得ているものです。このため、その取扱

いについて、現在、埼玉県に確認しているところです。

●計画している青少年センター、郷土資料コーナーなどや、関連して検討していた教育センターなどの再配置は。

★青少年センターと教育センターは、公共施設マネジメントの観点を踏まえ、計画を見直していくこととなります。郷土資料コーナーは、新図書館複合施設建設事業が中止になった場合、これに伴って計画が中止となります。

●図書館分館の充実について

★現在の分館・公民館図書室の利用者の特性を踏まえ、現状をさらに分析するとともに地域性を考慮し、利用者からの要望の多い図書資料の質・量の充実や開館時間の延長など、市民が満足できるサービスを展開することが重要と考えています。

★「新図書館複合施設」の早期開館を求める要望書を作成し、署名活動を行いました。たくさんの方の皆様から応援がありました。本当にありがとうございます。

【編集後記】

今までは、都市整備計画の中で、公共施設が、中心市街地に集中して造られてきました。

しかし、市民は、市街地ばかりに居住しているわけではありません。郊外にもたくさんの方が住んでおります。

何故、市の外郭部に公共施設を整備する事だけに批判の矛先を向けるのか、理解に苦しみます。

中心市街地優先の整備事業から脱却し、市内全域の発展を目指すべきです。

★「新図書館複合施設」の早期開館を求める要望書を作成し、署名活動を行いました。たくさんの方の皆様から応援がありました。本当にありがとうございます。